

国史跡青谷上寺地遺跡出土品

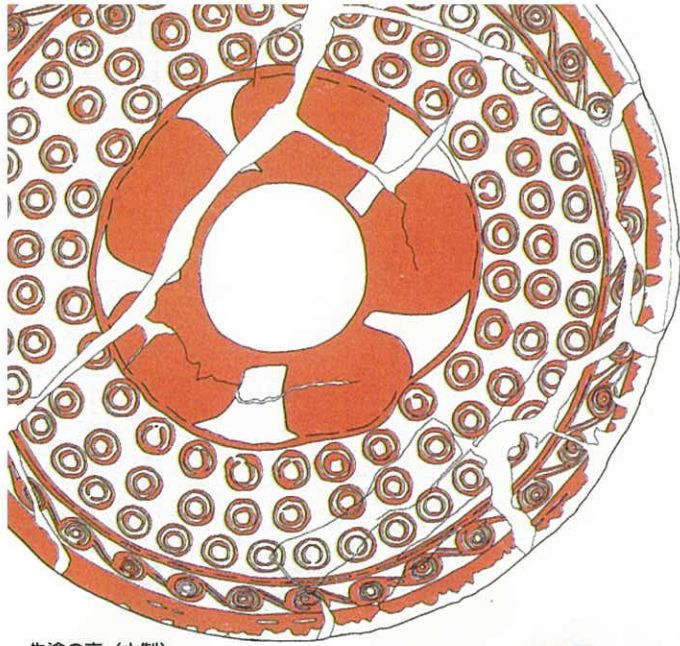
A o y a K a m i j i c h i

# 重要文化財指定記念

速報!

# おひろめ展

主催 鳥取県 鳥取県教育委員会



朱塗の壺 (木製)



銭貨「貨泉」



豎櫛 (鹿角製)

2019  
6/16日 - 6/30日

休館日：6月24日 (月)

会場：鳥取県立博物館 (鳥取市東町2丁目124) 第1特別展示室

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：一般180円 (常設展もご覧いただけます)  
(団体：20名以上150円)

※次の方は無料です

大学生以下/70歳以上/学校教育活動での引率者/  
障がいのある方・難病患者の方・要介護者等  
およびその介護者の方

彩色の盾 (木製)

このたび、国史跡青谷上寺地遺跡の出土品のうち、1353点が国の重要文化財に指定されることになりました。

指定される品々は、青谷上寺地遺跡の特徴である精巧な木製の容器をはじめ、日本海を通じた交易により入手された鉄器や青銅器など、多彩で豊富な内容を含んでいます。

これらの出土品が示す高度なものづくりの技術や、各地との積極的な交流は、「弥生時代のムラ＝農村」という従来のイメージを覆すものとして高く評価されました。

指定を記念し、鳥取の皆様にお披露目するため、代表的な約100点について、速報展示を行います。ぜひ実物の美しさを間近でご覧ください。



(出品されるのは一部です)

(出品されるのは一部です)

### I 手しごとの造形と意匠

弥生時代の鳥取では、多様で美しい木器、骨角器、土器などが造られました。その素朴で繊細な造形や意匠は、現代の民芸品にも通じるものがあります。約1800年前の鳥取に生きた弥生人の美意識をじっくりとご覧ください。

### II ものづくりや生活を支えた道具

優れた造形や意匠は、高い加工技術を基礎に制作されました。繊細な加工を可能にした最先端の鉄と伝統的な石による加工具から、青谷上寺地のものづくりの一端をご紹介します。

### III 海を通じた交流

青谷上寺地遺跡を語る上で欠かせないのが海が存在です。日々の暮らして海を利用し、海を通して各地との交流を行っていた青谷に生きた弥生人の姿を、漁労具や各地からもたらされた品々によりご紹介します。

## ギャラリートーク（展示解説）のご案内（場所：第1特別展示室）

専門職員が展示品をもとに、青谷上寺地遺跡の魅力をお伝えします。（要入館料・申し込み不要）

1回目：6月16日（日）午後1時30分から40分間程度

2回目：6月29日（土）午後1時30分から40分間程度

## おひろめ展会場（鳥取県立博物館）へのご案内



### 交通のご案内

◎JR鳥取駅からバスで

- 100円バス「くる梨（緑コース）」で「①仁風閣・県立博物館」下車すぐ
- ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ
- 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m

◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分

◎鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m

◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

※当館駐車場21台駐車可能  
(なるべく公共交通機関をご利用ください)

鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町2丁目124

TEL.0857-26-8044 FAX.0857-26-8041

<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>

本展覧会についてのお問い合わせ先  
鳥取県埋蔵文化財センター  
青谷調査室

〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667  
鳥取市青谷町総合支所2階  
TEL.0857-85-5011 FAX.0857-85-5012  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/aoya/>  
email: maibuncenter@pref.tottori.lg.jp